

みつけ 市議会だより

2026

No.131

令和8年8月7日発行



とぎ
蒼い季節（水道山公園）

6月定例会

- 6月定例会の概要…………… 2～3
- 一般質問（12人）…………… 4～6
- 政務活動費収支報告、トピックス…………… 7
- 総務文教委員会視察報告…………… 8
- 産業厚生委員会視察報告…………… 9
- 街かどで一言、議会日誌等…………… 10

発行：見附市議会

編集：議会だより編集委員会

〒954-8686

新潟県見附市昭和町2-1-1

TEL：(0258) 62-1700（代表）

FAX：(0258) 63-1006

E-Mail：gikai@city.mitsuke.niigata.jp

令和8年 第3回（6月）定例会

令和8年第3回（6月）定例会は、令和8年6月12日から25日までの14日間の会期で開催し、初日の12日には条例の一部改正や一般会計の補正予算など5件の議案を上程し、各委員会へ付託しました。

16日、17日、18日は12人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

19日は総務文教委員会、22日は産業厚生委員会を開催し、付託された議案について、審査を行いました。

23日には総務文教委員会、産業厚生委員会合同の所管事務調査を実施しました。

最終日の25日は、各委員長による委員会審査報告の後、付託議案等の採決が行われ、「監査委員の選任について」など18件が全会一致で可決、同意されました。

また、請願1号、2号についてはそれぞれ賛成討論、反対討論が行われた後、採決し、賛成少数により不採択となりました。意見書発議1件については、全会一致で可決されました。

審議結果は次のとおりです。

審議結果一覧

採決結果（◎：全会一致で可決されたもの ○：賛成多数で可決されたもの ×否決されたもの）
付託委員会（総務：総務文教委員会 産業：産業厚生委員会）

	議 案 名	議 案 内 容	本会議 採決結果	付 託 委員会
市長提出議案 (23件)	議第45号	専決処分について（見附市税条例の一部を改正する条例の制定について）	◎承認	
	議第46号	専決処分について（見附市都市計画法条例の一部を改正する条例の制定について）	◎承認	
	議第47号	専決処分について（見附市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	◎承認	
	議第48号	専決処分について（令和7年度見附市一般会計補正予算（第12号））	◎承認	
	議第49号	専決処分について（令和7年度見附市一般会計補正予算（第13号））	◎承認	
	議第50号	見附市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	◎可決	総務
	議第51号	令和8年度見附市一般会計補正予算（第1号）	◎可決	総務 産業
	議第52号	令和8年度見附市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	◎可決	産業
	議第53号	工事請負契約の締結について 名木野小学校長寿命化改良工事（体育館棟建築） 契約金額：319,000,000 円 契約の相手方：株式会社笹原建設	◎可決	総務

審議結果一覧

採決結果 (◎：全会一致で可決されたもの ○：賛成多数で可決されたもの ×：否決されたもの)
付託委員会 (総務：総務文教委員会 産業：産業厚生委員会)

		議 案 名	議 案 内 容	本会議 採決結果	付 託 委員会
市長提出議案 (23件)	議第54号	財産の取得について	災害対応特殊自動車(支援車)購入 契約金額：27,187,393 円 契約の相手方：株式会社米峰	◎可決	総務
	議第55号	監査委員の選任について	依田 志郎 氏(柳橋町)	◎同意	
	議第56号	農業委員会委員の任命について	高橋 都 氏(市野坪町)	◎同意	
	議第57号	農業委員会委員の任命について	三沢 孝喜 氏(小栗山町)	◎同意	
	議第58号	農業委員会委員の任命について	関谷 常夫 氏(上新田町)	◎同意	
	議第59号	農業委員会委員の任命について	太田 正美 氏(元町)	◎同意	
	議第60号	農業委員会委員の任命について	三本 友子 氏(福島町)	◎同意	
	議第61号	農業委員会委員の任命について	小林 平仁 氏(宮之原町)	◎同意	
	議第62号	農業委員会委員の任命について	小杉 義光 氏(椿澤町)	◎同意	
	議第63号	農業委員会委員の任命について	齋藤 義夫 氏(速水町)	◎同意	
	議第64号	農業委員会委員の任命について	齋藤 高央 氏(下関町)	◎同意	
	議第65号	農業委員会委員の任命について	佐藤 徹 氏(小栗山町)	◎同意	
	議第66号	農業委員会委員の任命について	渡邊 和明 氏(本明町)	◎同意	
	議第67号	農業委員会委員の任命について	稲田 誠司 氏(名木野町)	◎同意	
請 願	請 願 1 号	「消費税 5%以下への減税を求める意見書」を政府に送付することを求める請願	経済対策として消費税を当面一律 5%に引き下げることを求めるもの	×不採択	産業
	請 願 2 号	学校給食費無償化を求める請願	国は中学校の給食費の無償化を実施し、「給食費負担軽減のための交付金」の基準額を増額すること、県は市町村負担の半額を助成することを求めるもの	×不採択	総務
議員発議 (1件)	発議第1号	適正規模の少人数学級実現・教職員定数の改善・働き方改革・義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元を求める意見書の提出について	地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう、学級編制標準の引き下げ、教職員定数改善、新規採用の持続的確保などの措置を講ずることを求めるもの	◎可決	

会派別議案賛否一覧

※全会一致でなかった議案

会 派 名 議案番号		あおぞら 会		新政りべらる			共産党 議員団		みつけ 創政		みつけ未来の会			無会派	無会派	無会派	無会派
		重 信 元 子	渡 辺 美 絵	樺 澤 直 純	信 賀 陽 子	佐 々 木 志 津 子	馬 場 哲 二	小 坂 井 哲 夫	五十 嵐 遼	佐 野 統 康	大 坪 正 幸	小 林 園 以	佐 野 勇	エ ラ ヒ 美 砂 子	加 藤 秀 之	星 野 雄 哉	関 三 郎
請願1号	「消費税 5%以下への減税を求める意見書」を政府に送付することを求める請願	×		×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願2号	学校給食費無償化を求める請願	×		×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※○は賛成、×は反対、－は棄権、議長は裁決に加わらない。

二地域居住



信賀 陽子

Q. スマートシュリンクの考えに基づく二地域居住と地域交通の方向性について

質問 二地域居住の取り組み、促進のためのハード、ソフト面の整備の考えはあるか。

A. 二地域居住の促進も見附に必要な取り組み。国の支援制度や情報を集めている段階。

答 弁 二地域居住は人口減少社会において重要性が高まる取り組みと認識している。取り組みを進めるにあたっては、様々な準備が必要になる。現在は制度や実情など情報収集の段階だが、見附市の特徴や希望者のニーズを踏まえながら、いかに推進するか検討する。

詳しくは動画をチェック！→



公共交通



加藤 秀之

Q. 見附市の公共交通の課題について

質問 見附市が特に重要と考える施策、優先して取り組むべき施策を伺う。

A. 市民の移動手段を維持確保することにつきます。

答 弁 特に高齢者や子どもたちが安心して移動できる環境を確保することが重要である。運転手不足や利用者減少などの課題に対応しながら、利用促進や利便性向上の取り組みを進め、公共交通体系を維持していくことが大切であると考えている。

他の質問 「見附市障がい者を理由とする差別のないだれもが共に暮らせるまちづくり条例」合理的配慮の提供について
詳しくは動画をチェック！→



学校再編



小林 園以

Q. 学校再編を契機とした人口減少下のまちづくりについて

質問 学校再編の位置付けとその先にある見附市の将来像に対する市長の考えを問う。

A. 学校再編は単なる施設の統廃合ではなく、将来に向けての持続可能なまちづくりだ。

答 弁 必要な都市機能と各地域のコミュニティ維持の両立を図る方針。学校跡地活用には金融機関や民間企業との連携も含め有効活用する視点も重要。市全体の持続可能な移動手段のあり方を検討し、通学路の安全確保やコミュニティバスルートの整備を考えていく。

詳しくは動画をチェック！→



空家対策



関 三郎

Q. 「選択と集中」でめりはりの利いた空き家対策を

質問 特定空家等の義務者による早期の解体と更地化を促すための、減免措置は検討されているか伺う。

A. 平成24年10月に要綱を制定し、固定資産税等の減免措置を可能としている。

答 弁 固定資産税の減免措置については、平成24年10月に要綱を制定。特定空家が対象となり、解体、撤去、または補強、補修工事などの措置を促進し、危険な状態を回避することを目的とし、固定資産税等の減免措置を可能としている。

他の質問 「地域おこし協力隊」は地方創生につながるのか

詳しくは動画をチェック！→



給食費負担軽減



星野 雄哉

Q. 学校給食費負担軽減策の今後の見通しについて

質問 市の財政状況を鑑みて無償化実施の理由と判断、今後の見通しについて伺う。

A. 全額国費負担となるよう財源確保を要望しつつ、国の動向を注視し検討していく。

答 弁 制度は可能な限り継続したいが、国基準額に物価高騰の影響が適切に反映されない場合、市の負担が増える。物価高騰が進んでも給食の質を維持するため国に財源確保を求めていく。国の動向を注視し、見直しが必要であれば検討を重ね市の方向性を示したい。

他の質問

公共性の高い路線の冬期交通の確保について



詳しくは動画をチェック！→

公共交通



重信 元子

Q. 見附市の公共交通について

質問 見附市ヘライドシェア制度を導入する可能性を問う。

A. 運転手不足や地域の移動手段確保に資するが、慎重に検討する必要がある。

答 弁 令和5、6年度に夜間の移動手段確保を目的にナイトコミタクの社会実験を行った。しかし継続は難しい。今後は日中も含めた移動手段確保の観点から、国や他自治体の取り組みを注視し、交通事業者や関係団体と連携して、当市への適用可能性を探っていきたい。



詳しくは動画をチェック！→

5歳児健診



五十嵐 遼

Q. 子育て世帯の“不安の空白”を埋めるオンライン相談体制と5歳児健診の推進について

質問 5歳児健診の実施に向けた検討状況について伺う。

A. 5歳児健診については、令和10年度の本格的な実施を目指している。

答 弁 昨年度は国や県が実施する研修会に参加し、実施自治体の取り組みを把握。今年度は小児科医師、公認心理士、保育園、学校教育課、こども課でプロジェクトチームを立ち上げ、令和9年度の試行的な実施に向けてチーム会議や実施自治体の視察を行う。



詳しくは動画をチェック！→

公共施設



佐野 統康

Q. 公共施設の運営について

質問 道の駅パティオにいがたの指定管理者変更による運営状況はどうか。

A. アンケート実施や意見交換することで、農産物納入業者の声を反映させて運営方針の改善に努めている。

答 弁 指定管理者は、地元農産物の出荷量確保を優先課題として出荷拡大を呼びかけ、情報共有やコミュニケーション強化に努力中。地元農産物の充実を図り魅力ある売り場づくりへの取り組みを進めていく。



詳しくは動画をチェック！→

学校再編



樺澤 直純

Q. 学校を中心としたまちづくりについて

質問 今後、学校とスポーツ、文化施設を一体化した複合化施設の構想があるか伺う。

A. 検討にあたり施設の統合や複合化も選択肢の一つとして想定され得るものです。

答 弁 学校再編は、単なる施設の適正配置ではなく、教育の質の向上を実現できる学校づくりを念頭に進めているものです。将来的な施設の在り方、効率的な運営の検討、利用料金の適正化などについて、さまざまな視点から検討を行い、とりまとめを行います。

他の質問

みつけイングリッシュガーデンの夜間活用について

詳しくは動画をチェック！→



公共施設



大坪 正幸

Q. 公共施設の「未来の強化書」、グランドデザイン案について

質問 公共施設の現状と課題への理解を深めるにはどのような情報提供や施策が必要か

A. 7月にタウンミーティング、来年春にアクションプランの説明会を開催する。

答 弁 公共施設の最適化、使用料見直しなど、市民の生活に影響が出るような施策については、情報の分かりやすさが不可欠。広報みつけ、YouTubeなどを活用し市民に届く分かりやすい資料の作成・発信や説明会の開催などによる課題共有に取り組む。

詳しくは動画をチェック！→



給食費無償化



小坂井 哲夫

Q. 学校給食費無償化の拡充を求めて

質問 無償化された給食費、物価上昇に合わせて国費補助の増額を求めている。

A. 適切な見直しがなされるよう、全国市長会等で引き続き要望していく。

答 弁 全国で平等な教育環境を確保する観点から、地方自治体に負担を求めない形で国の予算措置が必要と考える。交付金の基準額は、次年度以降も物価を反映した適切な見直しがなされるよう、全国市長会ははじめさまざまな機会を捉えて引き続き要望していく。

他の質問

大型遊具設置に関しての市民の懸念について

詳しくは動画をチェック！→



介護支援



馬場 哲二

Q. 介護の改善に向けて支援を

質問 認知症の要介護1、2の人が認知症対応型グループホームに入居できる支援を。

A. グループホームへの入居支援策を検討しても、費用面で選択しない人がある。

答 弁 グループホームの入居費用は月額15万円前後の負担となることが多い。特別養護老人ホームなどの施設と異なり、グループホームには居住費・食費を減額する補足給付がなく、高額に感じる要因となっている。市独自の支援策は現在実施していない。

他の質問

イラン戦争がもたらす物価高・資材不足から暮らしと営業を守る対策を求める

詳しくは動画をチェック！→



■令和 7 年度 政務活動費収支報告一覧表

政務活動費は調査研究等のため、見附市議会では会派に議員一人当たり年間12万円が交付されます。収支報告書は領収書を添えて提出します。なお、収支報告書等は議会事務局で閲覧できます。

(単位:円)

会派名	収 入	支 出						差引残額	主な内容
	政務活動費	調査研究費	研修費	広報費	資料購入費	資料作成費	退会等に伴う返還分		
あおぞら会	240,000	0	59,490	112,486	33,000	5,425	0	29,599	研修費：自治体議会政策学会セミナー、他
新政りべらる	360,000	0	180,800	153,736	0	0	0	25,464	研修費：市町村議会議員研修
日本共産党議員団	240,000	0	0	206,385	8,000	0	0	25,615	広報費：議会報告発行
みつけ創政	360,000	0	59,660	0	9,800	0	20,000	270,540	研修費：シェアサミット2025、他
みつけ未来の会	480,000	0	198,060	153,351	0	0	60,000	68,589	研修費：地方議員研究会セミナー、他
エラヒ 美砂子	60,000	0	0	0	0	0	0	60,000	
加藤 秀之	120,000	6,000	102,450	0	11,550	0	0	0	研修費：地方議員研究会セミナー、他
星野 雄哉	120,000	0	25,440	0	39,040	0	0	55,520	研修費：地方議会セミナー
関 三郎	120,000	0	118,120	0	1,880	0	0	0	研修費：地方議員研究会セミナー、他

(注1) 各会派ごとの議員名

- ・あおぞら会 (2名) 重信元子、渡辺美絵
- ・新政りべらる (3名) 樺澤直純、信賀陽子、佐々木志津子
- ・日本共産党議員団 (2名) 馬場哲二、小坂井哲夫
- ・みつけ創政 (3名) 五十嵐遼、佐野統康、徳永英明 (令和8年1月逝去)
- ・みつけ未来の会 (4名) 大坪正幸、小林園以、佐野勇、エラヒ美砂子 (令和7年9月退会)
- ・無会派 (4名) エラヒ美砂子 (令和7年10月～3月分交付)、加藤秀之、星野雄哉、関三郎

(注2) 差引残額が出た会派の政務活動費は返還済みです。

議会トピックス

市議会議員としての大なる功績が認められ (議員在職15年)、全国市議会議長会、北信越市議会議長会から、大坪正幸議員が表彰されました。

賞状の伝達式は、6月定例会初日に議場で行われました。



〔総務文教委員会 行政視察報告〕 令和8年 5月19日～5月21日

総務文教委員会：◎星野雄哉・○馬場哲二・五十嵐遼・小林園以・信賀陽子・樺澤直純・渡辺美絵・大坪正幸

今回の視察目的 令和8年5月19日から21日にかけて、総務文教委員会では、滋賀県湖南市・京都府福知山市・静岡県焼津市を訪問し、公共施設マネジメント、廃校活用、若者の居場所づくりに関する先進事例を視察しました。

5月19日 滋賀県 湖南市 条例に基づく公共施設マネジメントと小規模多機能自治

湖南市では、合併に伴う施設増加や老朽化、更新費の増大を背景に、公共施設白書を策定し、総合管理計画と基本条例により施設再編を進めています。推進委員会で進捗を確認し、専門的な視点を取り入れながら計画を継続する仕組みが整えられていました。また、中学校区単位で生活圏域を捉え、施設のあり方と地域づくりを一体的に考えている点が参考となりました。見附市においても、施設の存廃だけでなく、地域の将来像と結び付けた検討が必要と感じました。



5月20日 京都府 福知山市 廃校 Re 活用プロジェクト

福知山市では、合併により公共施設が過剰となったことを背景に、資産活用課を中心として廃校活用を進めています。地域の意向確認、公募前の条件整理、審査への地域参加など、地域合意を重視した仕組みが特徴です。相談窓口の一本化や庁内横断の意思決定、金融機関連携による事業者発掘は、見附市の空き校舎活用を考えるうえで参考となりました。今後の学校再編を見据え、早い段階から活用方針を整理する重要性を感じました。

5月21日 静岡県 焼津市 みんなの公民館まる

焼津市では、民間団体が運営する「みんなの公民館まる」を視察しました。高校生を中心に、職場体験、マルシェ、文化祭など多様な参加機会を設け、若者が主体的に関わる場をつくっています。企業協賛や助成金を組み合わせた民設民営の運営は、見附市の「MITSUKERU」の運営や若者施策を考えるうえで参考となりました。行政だけでなく、地域や企業と連携して公共的な機能を支える視点が重要であると感じました。



今回の視察で得た知見を、今後の委員会活動に活かし、公共施設再編、廃校活用、若者が主体的に関わる場づくりについて、見附市の実情に即した政策提言につなげてまいります。

〔産業厚生委員会 行政視察報告〕 令和8年 5月12日～5月14日

産業厚生委員会：◎加藤秀之・○小坂井哲夫・エラヒ美砂子・佐野統康・佐野勇・重信元子・関三郎・佐々木志津子

今回の視察目的 見附市の公共交通の現状は、市外地へ向かう路線バスは減便、コミュニティバスは時間帯により空席が目立ち、タクシーは営業時間の短縮などで足としての機能が失われるなど、全般的には市内の交通網が縮小され、公共交通機能が危ぶまれている状況があります。

産業厚生委員会は今年の取り組みのテーマを「地域公共交通」とし、特色ある取り組みを行っている自治体（3自治体）を視察してきました。

5月12日 茨城県つくば市 4市合同、地域連携公共ライドシェア

4市（つくば市・土浦市・下妻市・牛久市）が連携して実施するライドシェア事業。各市の運行形態には差があるものの、AIを利用したオンデマンド予約で効率的に配車を行う。運転手募集、育成や配車アプリ開発などに係る経費負担を4市折半で行うため、一市の負担が抑えられ、4市合同のメリットがある。

運転手の働き方も考慮し、任意で運転業務ができること、料金定額性にして客の負担額を抑え、運転手には利用人数による歩合制を取っている。運転手確保のため、働き続けられる環境づくりと客への負担軽減をうまく調和させた取り組みを行なっている。



5月13日 茨城県常陸太田市 自動運転EVバス「じょっピー」

将来的な「運転手不足」に対応した新たな住民の移動手段の確保を目的として自動運転バス2台を購入。

将来はレベル4運行（無人）の実現で地域交通とにぎわいを確保することを目指している。

導入は国交省がH29年、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの実証箇所となる自治体を募集したことによる。

安全性を最重視し20km以下で運行。専用バス停を設定することで、渋滞等のクレームは起きていない。

5月14日 茨城県高萩市 呼び出し型最適経路「MyRide のるる」

市内の路線バス、空バス運行が頻発している状況にある。

需要に応じて柔軟に運行させ、利用者の利便性向上につながるAIを用いたバス運行形態（最適な経路とダイヤを生成するシステム）が必要と判断。現在運行している民間事業者と一体で取り組みを模索し、「MyRide のるる」の導入になった。車両は現在運行しているバスを利用している。利用者がスマホアプリや電話からバスを呼び出せる仕組みで、スマホが苦手な住民にも利用しやすい対応を行っている。バス移動中でも呼び出しがあれば乗車場に向かうこともあり、時間を急ぐ方はタクシーの利用を呼びかけている。



議会日誌

= 5 月 =

12日～14日 産業厚生委員会行政視察
13日 全国自治体病院経営都市議会協議会
19日～21日 総務文教委員会行政視察
27日 全国市議会議長会

= 6 月 =

5日 議会運営委員会
9日 議会運営委員会
12日 市議会定例会（議案上程）
議会だより編集委員会
16日 市議会定例会（一般質問）
17日 市議会定例会（一般質問）
18日 市議会定例会（一般質問）
19日 総務文教委員会
22日 産業厚生委員会
23日 合同所管事務調査
長岡地域土地開発公社審議委員会
25日 市議会定例会（最終日）

= 7 月 =

8日～9日 議会運営委員会行政視察
17日 議会運営委員会
21日 会派代表者会議/議員協議会
議会だより編集委員会

（行政視察来庁）

5月：埼玉県入間市、岩手県大船渡市、千葉県流山市
7月：山形県河北町、群馬県館林市、埼玉県川越市、
秋田県由利本荘市、神奈川県平塚市、東京都北区
静岡県富士宮市、東京都中野区

議会を傍聴しませんか

◆9月市議会定例会 会期予定◆

月日	曜日	開議時刻	会 議
9. 3	木	午前 10 時	本会議（議案上程等） 決算特別委員会
9. 7	月	午前 10 時	本会議（一般質問）
9. 8	火	午前 10 時	本会議（一般質問）
9. 9	水	午前 10 時	本会議（一般質問）
9.10	木	午前 10 時	総務文教委員会
9.11	金	午前 10 時	産業厚生委員会
9.14	月	午前 10 時	決算特別委員会
9.15	火	午前 10 時	決算特別委員会
9.16	水	午前 10 時	決算特別委員会
9.18	金	午前 10 時	本会議（採決）

※定例会は、すべて傍聴できます。

- ①傍聴の定員は本会議53名、委員会は5名です。
- ②本会議及び委員会は、生中継と録画中継をインターネットで配信しています。見附市ホームページからアクセスできますので、ぜひご覧ください。

《ホームページアドレス》

(<http://www.city.mitsuke.niigata.jp/>)



編集後記

見附市議会では、子ども達に議会を知ってもらう取り組みとして、小学生の「わくわく体験塾」の講座として、「議会を見てみよう」を行い、議員の活動紹介や議場で発言する体験をしてもらっていました。今年は、見附青年会議所（JC）が8月24日に開催する「こども議会」に見附市議会が協力する形になります。小学生や中学生の皆さんが、どういう意見を持ち、どういう見附になってほしいかを聞く事が出来る貴重な機会、今からとても楽しみです。ぜひ、多くの市民の皆様に見て頂きたいと思っています。議会は「言論の府」とも呼ばれ、武力や権力ではなく、言葉により熟議を重ねて意思決定を行います。子ども達と共に学ぶ夏にしたいと思います。

議会だより編集委員 重信 元子

議会だより編集委員会

委員長 佐々木志津子

副委員長 重信元子

委員 小林園以 小坂井哲夫 佐野統康

《街かどで一言》

「終戦の日を忘れない」

8月15日終戦の日を前にして。ここ見附市には戦没者1148柱の英霊が追悼されています。

市内各地には忠魂碑などが建てられており、その数は13ヶ所。戦争は私達には過去であり実感のないものですが、事実おきた事なのです。

今の私達が平和に暮らしているのは、戦った英霊が、家族や恋人、将来の日本を護りたい一心で散っていったお陰なのです。彼らは決してこれを望んだ訳ではない、でも自分たちが戦う事で愛する人を護れるならばと、そんな思いをしたのでしょう。

議員の皆様は、毎年8月の見附市遺族会の合同慰霊祭に参列されています。見附市議会でも慰霊碑の存在と平和教育に関して理解を深めていただければと思います。

そして、私のこのメッセージにより、一人でも多く市民の皆様が1148柱の英霊を知っていただくきっかけになれば何よりです。

太田町 加藤 匠